

## 【22卒・地方でのインターンシップに関する調査】

76.3%が「地方でのインターンシップ」参加を希望。

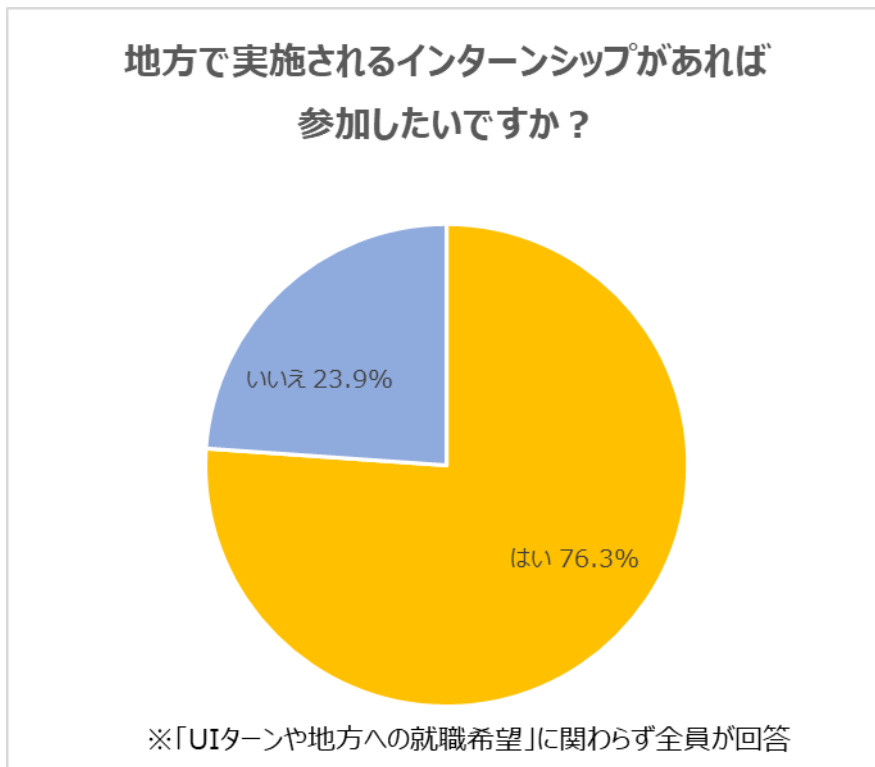
“オンライン地方インターンシップ”が今後のトレンド入りも。

株式会社学情は、新型コロナウイルスの影響やテレワークの推奨で、地方へのUIターン希望者が増えていることを受け、2022年卒学生を対象に、「地方でのインターンシップ」に関するアンケートを実施しました。76.3%が「地方で実施されるインターンシップに参加したい」と回答し、関心の高さが伺えます。地方で参加したいインターンシップは、「インターンシップの内容が面白そう」が最多で63.4%、次いで「オンラインで参加できる」が52.9%となりました。“オンライン地方インターンシップ”が今後トレンドになる可能性があります。

### 【TOPICS】

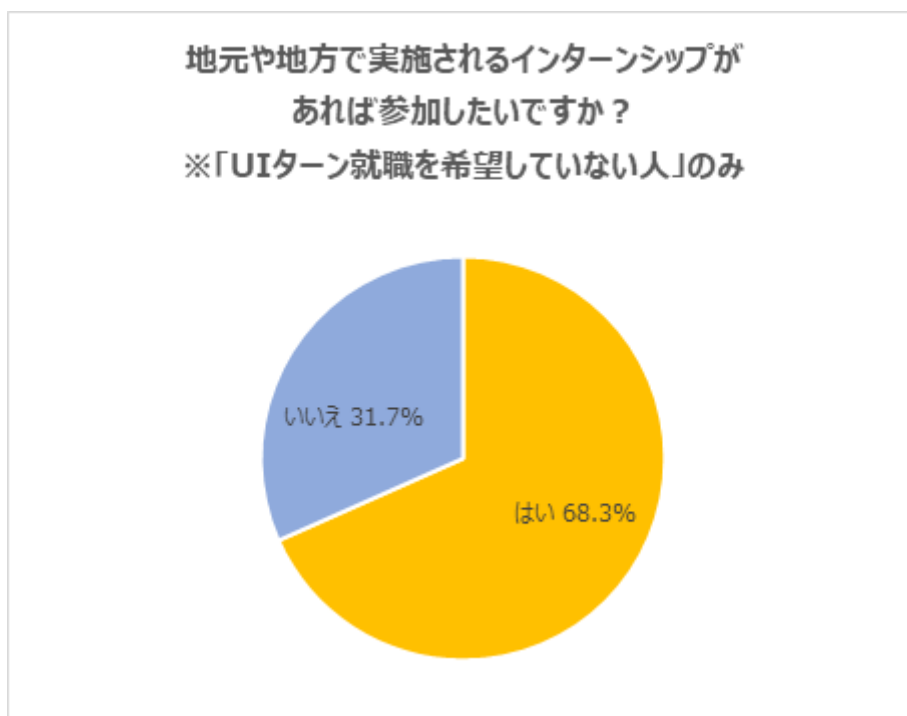
- (1) 「地方で実施されるインターンシップ」に76.3%が参加したいと回答
- (2) 地方で参加したいインターンシップは「内容が面白そう」が最多、次いで「オンラインで参加できる」
- (3) 参加希望時期は「8月」「9月」が8割超

#### (1) 「地方で実施されるインターンシップ」に76.3%が参加したいと回答

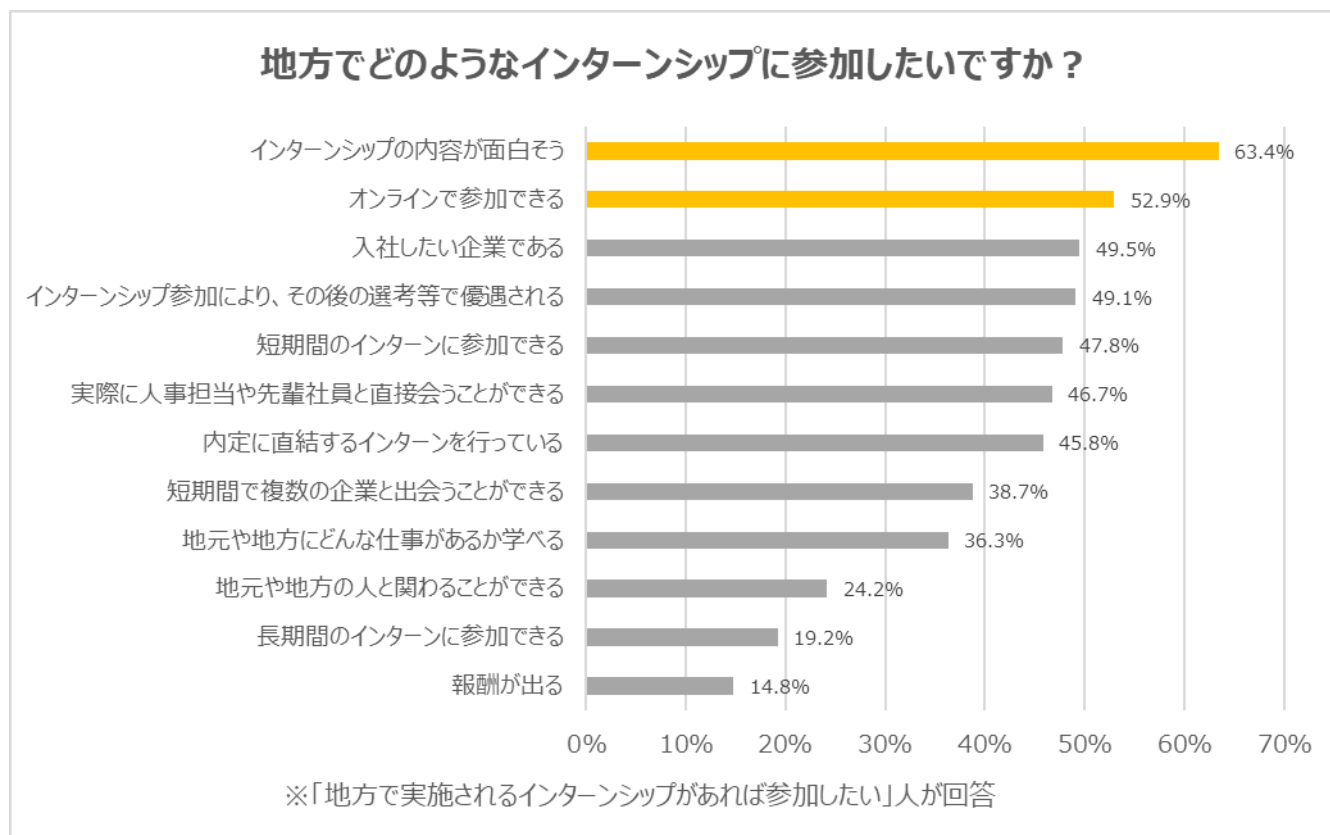


「地方で実施されるインターンシップ」に76.3%が参加したいと回答し、「参加を希望しない人」を大きく上回る結果となりました。「UIターン就職を希望している人」は、ほぼ全員が「地方で実施されるインターンシップに参加希望」としています。また、特筆すべきは、「UIターン・地方就職を希望しない」と答えた人も、「地方で実施されるインターンシップ」に参加したいと回答した人が68.3%に上ったことです。現時点では「UIタ

ーンや地方での就職」を希望していない学生も含めて、多くの学生が「地方で実施されるインターンシップ」に関心を持っていることが分かります。



(2) 地方で参加したいインターンシップは「内容が面白そう」が最多、次いで「オンラインで参加できる」

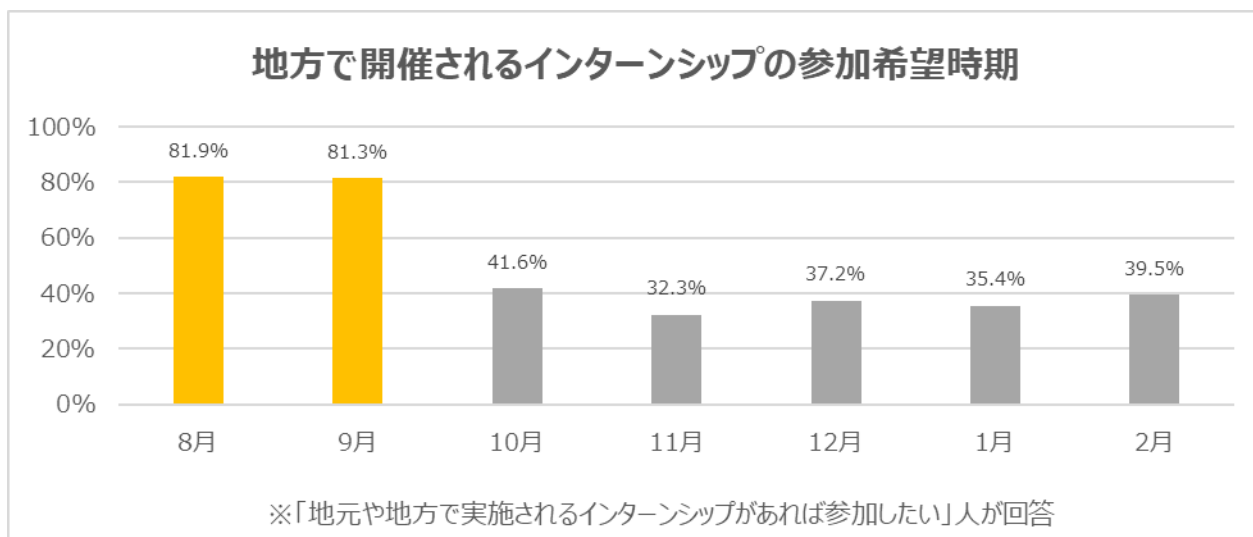


地方で参加したいインターンシップは「インターンシップの内容が面白そう」が最多で63.4%となりました。「観光や地域振興に関わる仕事を体験してみたい」「特色ある製品を製造するメーカーの仕事を体験してみたい」などの声があがっており、都市部では体験できない地方ならではの内容のインターンシップへ参加したいという

意向が伺えます。

また、「オンラインで参加できる」が52.9%と続きました。2020年6月に実施した「インターンシップの参加意向」に関する調査でも、「オンラインで参加できるインターンシップがあれば参加してみたい」と答えた学生が83.4%となり、学生のほとんどがオンラインでのインターンシップ参加に抵抗がないとしています。答オンラインでの参加であれば、都市部の学生が地方企業のインターンシップに参加することも容易になり、今後、“オンライン地方インターンシップ”が1つのトレンドになる可能性があります。

### (3) 参加希望時期は「8月」「9月」が8割超



地方で開催されるインターンシップの参加希望時期は、「8月」「9月」が8割超の結果となりました。夏休み期間に参加したいという意向が分かります。

#### ■調査概要

- ・調査対象：インターンシップ情報サイト「あさがくナビ 2022」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「あさがくナビ 2022」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2020年6月17日～6月29日
- ・有効回答数：1,036名
- ・回答者属性

【現住所】北海道・東北：2.5%／関東：44.9%／北陸・甲信越：1.5%／中部・東海：6.7%／  
関西：37.6%／中国・四国：2.9%／九州：3.8%

【UIターンでの就職希望】希望する：26.8%／希望しない：73.2%

東証一部上場

学情

